

いしおか

市議会だより



市民の声を

確実に

市政へ



副議長
岡野 孝 男



議長
塚谷 重 市

ので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本市議会では、平成27年5月1日から22人の議員による新たな任期が始まりました。議決機関として、また市政の監視機関としての役割を果たすとともに、市民の皆様の声を実に市政へ反映させるため、執行部と議論を重ねながら、積極的に政策提言していくことが我われ議会の使命であると考え、議員一丸となって全力を傾注する決意でございます。

議会におきましても、円滑な議会運営と市民に身近で開かれた議会を目指し、議会基本条例における議会報告会など、さまざまな議会改革の取組を進めてまいる所存でございます。

どうか、今後とも市議会に對しまして、ご支援とご理解を賜りますようお願いを申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

市民の皆様には、平素から市議会活動に對し、深いご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

私ども、5月19日に開催いたしました第1回石岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第6代石岡市議会議長並びに副議長に就任いたしました。市民の代表として信頼される議会を目指し、本市の発展と市民福祉の向上に、最善の努力を尽くしてまいります。

第49号

ぎかい
広報紙

平成27年6月15日発行



池田正文
国府7



菱沼和幸
貝地2



岡野孝男
上曾



塚谷重市
小幡

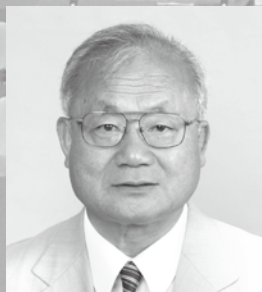
市民のみなさまの負託にこたえ 石岡の未来に



勝村孝行
柴内



谷田川 泰
東府中



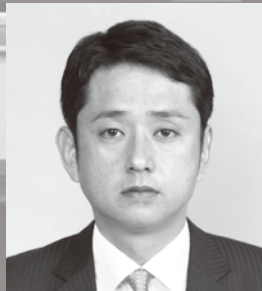
小松豊正
総社2



大槻勝男
真家



新田 茜
若松2



大和田 寛樹
東成井



川井幸一
柿岡



島田久雄
嘉良寿理



徳増千尋
南台2



高野要
東府中

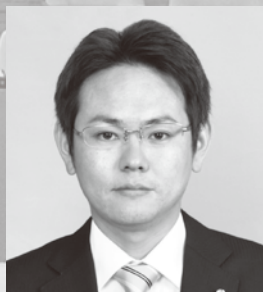


鈴木行雄
東大橋

全力を尽くします



山本進
国府2



村上泰道
東光台2



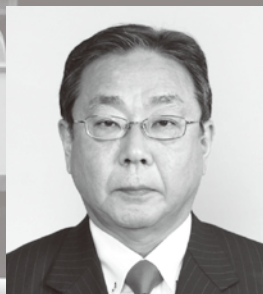
関口忠男
根小屋



櫻井信幸
小幡



櫻井茂
府中3



石橋保卓
貝地2



玉造由美
真家

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。

石岡市議会を検索するか、次のURLを直接入力してください。 <http://www.ishioka-shigikai.jp/>

石岡市議会



議案の審議結果

第1回 定例会 ※第1回定例会（2月24日～3月19日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第 1 号	平成27年度石岡市一般会計予算	原案可決
議案第 2 号	平成27年度石岡市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第 3 号	平成27年度石岡市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 4 号	平成27年度石岡市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 5 号	平成27年度石岡市駐車場特別会計予算	原案可決
議案第 6 号	平成27年度石岡市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第 7 号	平成27年度石岡市霊園事業特別会計予算	原案可決
議案第 8 号	平成27年度石岡市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第 9 号	平成27年度石岡市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第10号	平成27年度石岡市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第11号	平成27年度石岡市水道事業会計予算	原案可決
議案第12号	平成26年度石岡市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第13号	平成26年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第14号	平成26年度石岡市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第15号	平成26年度石岡市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第16号	平成26年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第17号	平成26年度石岡市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第18号	平成26年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第19号	平成26年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第20号	平成26年度石岡市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第21号	石岡市行政手続条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第22号	石岡市職員配偶者同行休業条例を制定することについて	原案可決
議案第23号	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第24号	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第25号	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第26号	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第27号	石岡市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第28号	石岡市教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第29号	石岡市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第30号	石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第31号	石岡市学童保育事業条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第32号	石岡市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第33号	石岡市民俗資料館条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第34号	石岡市保育所条例の一部を改正する等の条例を制定することについて	原案可決
議案第35号	石岡市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第36号	石岡市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例を制定することについて	原案可決
議案第37号	石岡市介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第38号	石岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例を制定することについて	原案可決
議案第39号	石岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第40号	石岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第41号	石岡市自然休養村センター条例を廃止する条例を制定することについて	原案可決
議案第42号	市町村建設計画の一部を変更することについて	原案可決
議案第43号	「工事委託契約の締結について」の一部変更について（常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事）	原案可決
議案第44号	債権の放棄について	原案可決
議案第45号	霞台厚生施設組合規約の変更について	原案可決
議案第46号	平成26年度石岡市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

平成27年度各会計 当初予算を原案のとおり可決

2月24日から3月19日
に開催した平成27年第1
回定例会では、「平成27
年度一般会計予算」をは
じめとする各会計予算
や、地方創生に関する地
方の取組を支援する交付
金を創設したことに伴う
「平成26年度石岡市一般
会計補正予算（第7号）
」など追加議案も含め、
市長から合計46件の議案
が提出されました。

●平成27年度予算●

平成27年度予算の編成では、市長から「地域資源を掘り起こし、ポテンシャルを高め、ふるさと石岡に愛着と誇りを持つことにより、人口減少に歯止めをかけ、人々が心豊かに生活できるまちづくりを目指し、セカンドステージに入った『石岡ふるさと再生プロジェクト』によりめりはりのある予算編成を行ったところでございます」と説明がありました。さらに、「国の地方創生施策と歩調を合わせ、危機感を持って人口減少対策に積極的に取り組んでいかなければならない」として、『石岡ふるさと再生プロジェクト』の共通テーマとして新たに「人口減少・少子化対策」を追加し、重点かつ全庁的に推進していくことが述べられました。

（12～14ページ参照）

●平成26年度 一般会計補正予算●

今回の補正予算は、事業費の確定等により財源調整が必要な経費、後年度の財政負担軽減を図るための、基金、起債の調整などを基本的な考え方として予算が計上されました。



議案第12号の一般会計補正予算（第6号）は、補正予算額4698万5000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は296億8789万7000円となります（年度当初の予算額は289億円）。

歳出の主な内容として、総務費では、ふるさとづくり寄附金の申込者の増加に伴い記念品代や郵便料を増額する、ふる

さとづくり寄附事務経費1329万円を増額するほか、生活保護費の国庫負担金確定に伴う返還金等、過誤納還付金9068万7000円の増。民生費では、民間保育所の今年度実績から不足の見込まれる保育委託運営経費2126万4000円の増、今年度実績から医療扶助費と介護扶助費の予算不足が見込まれる、生活保護費3000万円の増。農林水産業費では、台風18号の被害を受けた揚水機場の改修経費を補助する県単土地改良事業1127万5000円の増。土木費では、北

根本地内の県単急傾斜地崩壊対策事業の事業費確定による急傾斜地崩壊対策事業108万4000円の増などです。

●地方創生に関する 補正予算●

最終日に追加提案された議案第46号は、国の地域住民生活等緊急支援交付金の補正にかかる経費を対象として、2億1422万1000円を追加し、補正後の歳入歳出総

額を299億211万8000円とし、全額を翌年度に繰越するものです。

歳出の主な内容は、新たにつくば駅から朝日トネルを経由するバスを運行する地域交通対策事業490万円の増、プレミアム商品券の発行や（仮称）石岡ふるさとまつり開催などの商工振興事業1億3950万円の増、ふるさと学習教材を作成するふるさと学習推進事業622万5000円の増などです。

（11ページ参照）

今回提出された議案は、追加提案された議案を除く45議案を、予算特別委員会、各常任委員会に付託して審査を行いました。本会議で表決の結果、すべての議案を原案可決しました。



平成27年度 石岡市の予算

会 計 名	歳入歳出予算額
一般会計	315億円
特別会計	
国民健康保険特別会計	106億5,378万6千円
簡易水道事業特別会計	3億7,195万9千円
下水道事業特別会計	22億725万7,000円
駐車場特別会計	2,220万2,000円
農業集落排水事業特別会計	3億858万9,000円
公園事業特別会計	1,896万円
介護保険特別会計	70億3,768万4,000円
介護サービス事業特別会計	3億433万7,000円
後期高齢者医療特別会計	7億2,329万1,000円
水道事業会計(支出)	10億2,843万2,000円

恋瀬川氾濫による災害

(片野地区周辺)対策

恋瀬川を安全な川にするための施策は――



おかの 孝 男
おかの 野 孝 男

問 昨年10月に発生した台風18号では、恋瀬川の氾濫により片野地区で車両が通行できなくなるなど、大きな被害がありました。そこで、片野地区周辺の被害状況を伺います。被害を受けた揚水機場3か所の改修については、地元負担をできるだけ少なく対応に当たるべきだと思います。また、氾濫を防止する方策として、幅が狭くなり水の流れが滞る石渚山周辺の河川幅の拡幅や、橋げたが低い光安寺橋の改修、恋瀬川上流の河川に堆積した土砂を取り除くしゅんせつ工事をするなどで、氾濫も軽減されるものと思いますが、考えを伺います。

答 片野地区周辺では、床上6棟、床下29棟の浸水、道路冠水による通行止めは6か所ありました。大豆等が冠水被害を受けたほか、3地区の揚水機場に被害があり、その改修は県単土地改良事業により地元負担を10%にとどめる制度設計をしています。河川幅の拡幅は、県に対し積極的に働きかけを行います。光安寺橋上流下流の浸水対策は、県の護岸改修整備計画に含めていただけるよう要望しています。堆積した土砂は、当面、恋瀬川のしゅんせつ工事を行うことでスムーズな流れが確保できると考え、早急な対応を県に要望いたしました。今後も、県と綿密に連携をしながら、対策が確実に進むよう努力してまいります。

その他の質問事項

●市内小中学校の統廃合



こまの まさゆき
こまの まつとよ 正 豊

乗合いタクシーの土曜日、日曜日運行 運行に向けた検討は

用しやすい乗合いタクシーは需要が増えるかと予想されます。現在は平日に運行していますが、土日、祝日の運行を求める声は大変多く、切実な要求だと思えます。そこで、土日、祝日の運行を求める要望はどの程度

寄せられているのか、その要望に対しどのような検討をしてきたのか、さらに、予算化に向けた取組状況を伺います。

答 土日、祝日運行に対する要望は、毎年10件程度寄せられています。市では、運行実績をもとに利用状況を分析しており、必要に応じて、乗合いタクシー運行委員会に諮って、利用者の利便性の向上に心がけています。土日、祝日運行の要望も担当部内で検討を行っていますが、土日、祝日が休日となる公共施設等の利用者が多いことや、送迎する家族がいるケースが多いと考えられることから、土日、祝日の運行は検討の域を出ていません。今後は、利用者の予測や民間交通事業者の意見を聞きながら、より利便性の高いサービスに努めていきます。

その他の質問事項

●住宅リフォーム助成制度●介護保険改定●国保税の引下げ など

地方創生戦略の推進 プレミアム商品券の内容は



ぬまの かずゆき
ぬまの 和 幸 菱 沼 和 幸

問 国の地方創生戦略推進のうち、消費喚起・生活支援型交付金について伺います。まず、石岡市のプレミアム商品券の具体的な内容と、市民への周知方法、利用できる店舗をどのように増やしていくのか、考えを伺います。さらに、「ふるさと名物」の商品化についても見解を伺います。この事業は、単なる商品券の発行にとどめず、最終的にどう利用されたかが重要です。地元の皆さんの参画がなければ、地元の活性化にはつながりません。しっかりと協議をし、本当に喜んでいただける活性化事業として展開してもらいたいと思います。

答 この事業は、消費喚起効果が大きいプレミアム商品券を発行することにより、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図ることを目的として、県内全市町村が実施を予定しています。現在、事業内容を調整していますが、国からの交付金を1億2600万円と見込み、プレミアム額を2割程度として、夏ごろまでに実施したい考えです。また、交付金を活用した消費喚起型事業のうち、ふるさと名物商品券などの地域外からの消費喚起を促す取組は、都道府県事業とされていますので、茨城県に対して、石岡市の名物や特産品を取り上げていただけるよう、積極的に提案してまいります。

その他の質問事項

●平成26年度の総括並びに27年度の市政運営●「コンビニ健診」の推進●インターネットリブライシー など

改選後の初議会で 議会の構成が決まる

4月26日に行われた石岡市議会議員一般選挙により、22名の石岡市議会議員が誕生しました。
(2・3ページ参照)
5月19日には、議員全員による請求に基づき、市長が第1回臨時会を招集しました。

●新議長・新副議長が 選出される●

改選後初議会であるこの日、議長並びに副議長の選挙が行われ、投票の結果、議長に塚谷重市氏が、副議長に岡野孝男氏が選出されました。

●常任委員会の名称 及び定数を変更●

今回の改選から議員定数が24名から22名に削減されたことに伴い、「石岡市議会委員会条例」の一部を改正し、常任委員会の名

称及び定数等を次のとおり改めました。

- ①総務委員会(定数8)
- ②教育福祉環境委員会(定数7)
- ③経済建設消防委員会(定数7)
- ④議会運営委員会(定数7)

条例改正後には、各委員会委員の選出が行われ、新たな議会構成が決まりました。
(16ページ参照)

●市長提出議案を承認●

市長から、専決処分された石岡市税条例の一部を改正する条例など、4件の議案が提出され、議会はすべての議案を、承認(同意)しました。

議長・副議長のプロフィール

議長 塚谷 重市氏



旧八郷町議会時の平成12年から議員を務め、現在5期目。
石岡市議会副議長(平成23年5月～平成25年6月)を務めたほか、議会運営委員会委員長、環境経済委員会委員長などを歴任。
議長職に就いて「公平、公正、そして中立な議会運営に努めるとともに、議会の透明性を高めるなど市民に開かれた議会となるよう努力していく」と抱負を語る。座右の銘は「誠心誠意」。
昭和23年生まれの66歳。小幡在住。

副議長 岡野 孝男氏



旧八郷町議会時の平成16年から議員を務め、現在4期目。
総務企画委員会委員長、議会改革特別委員会委員長、予算特別委員会委員長などを歴任。
副議長職に就いて「『市民誰もが安心して暮らせるまちづくり』に向けて、議会と行政が議論を重ねながら切磋琢磨する関係を築いていきたい」と抱負を語る。座右の銘は「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」。
昭和23年生まれの66歳。上曾在住。

議案の審議結果

第1回 臨時会

※第1回臨時会(5月19日)で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第47号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第48号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第49号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第50号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議員提出議案第1号	石岡市議会委員会条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決

定住人口を増やす方策の一つとして 地磁気観測所移転の考えは



ひろ ちくま 尋 増 徳

してはと思いますが、考えを伺います。

問 定住人口を増やすため、都心への通勤等の利便性を図ることが考えられますが、3月に開業する上野東京ラインは、通勤快速は取手以南であるなど、石岡からは使いにくいものです。また、常磐線は取手に直流・交流の切り替えがあり、この原因の一つに地磁気観測所があります。直流と交流に対応した列車は費用がかかることから、地磁気観測所が石岡にあったのでは、常磐線を増やすことは難しいと考えられ、定住人口を増やすためには地磁気観測所の移転を要望していただきたいと思っています。また、市のメリットに対して相対のメリットを国に要求

答 柿岡の地磁気観測所は、大正2年から現在まで約100年間継続して同一地点で観測を行っており、蓄積されたデータは大変重要なものとされています。その観測精度の高さは広く国際的にも認められており、長期間にわたるデータは、人間の財産にもなっています。このようなことから、地磁気観測所の移転は容易でないと認識しています。また、メリットだけでなく、多くの科学者などの聖地であるという意味ではメリットもあるということを、市民全体として認識していかねければならないと思います。

その他の質問事項

●新庁舎建設●循環型社会形成に則したゴミ処理場建設

中心市街地活性化

まち未来いしおかの位置付けは



やすし たにがわ 谷田川 泰

問 まち未来いしおかは、市や商工会議所などが出資して平成17年10月に設立されたまちづくり会社ですが、中心市街地活性化事業におけるまち未来いしおかの位置付けと10年間の事業実績その効果を伺います。まち未来いしおかが経営する石岡カフェは、厳しい経営状況にあると聞きます。経営改善に向けた環境整備など側面的な応援が、市に課せられた重大な問題です。さらに、経営責任を明確にすることがスムーズな運営につながると思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 まち未来いしおかは、市や石岡商工会議所などが出資し、チャレンジショップの運営などを経て、現在は農家の野菜直売所と石岡カフェの2店舗の営業、まちかどギャラリー事業の実施主体として活動しています。これらの事業は、いずれも石岡市中心市街地活性化基本計画に位置付けられた重要な事業であり、公共と民間の機能を併せ持つ事業としてまちづくり活動に取り組むこの会社の存在は、市の中心市街地活性化を進める上で大変重要であると考えます。現在、厳しい経営状況ですが、事業を効果的に実現できるように引き続き密接に連携を図るとともに、行政としての側面的な支援として環境整備を図ってまいります。経営責任は、取締役会等を通じ、市として意見を述べていきます。

その他の質問事項

●合併10周年記念事業

平成27年度「ふるさと再生」 リーディングプロジェクト 具体的な事業内容は



ひさ ひろなか 磯 部 延

です。そこで、各々の事業の具体的な取組を伺います。

問 リーディングプロジェクトに掲載された事業をみると、前年度とほとんど変更されていませんが、実績を検証し反映させるのが、プロジェクトのあり方だと考えます。中でも中心市街地活性化事業は、新規出店の支援等を計画するだけでなく、その地域の方々の意識改革を進めることも必要です。また、観光交流推進プロジェクトのひとつ、石岡のおまつり魅力アップの事業では60万人の出入を目指していますが、来訪者の利用する駐車場の整備など、実現するために何が必要なのか十分に検証する必要があります。新たに掲載された滞在型観光施設整備基本計画の策定も同様

答 中心市街地活性化や観光振興は、継続拡大していくことが大切と考え、プロジェクトを作成しています。特に中心市街地活性化は、現在取り組んでいる内容や商店街の意見を取り入れながら検証し、改善していく考えです。具体的には、中心市街地活性化事業ではまちづくりリーダーセミナーの開催等を計画、石岡のおまつり魅力アップでは参加型イベントの開催や観覧場所の拡充など、受け入れ環境の整備に取り組めます。滞在型観光施設整備基本計画は、国民宿舎つくばねの施設機能再構築にかかる基本計画を策定していきます。

その他の質問事項

●平成26年度の総括●「協働のまちづくり」実施事業への取組●人口減少・少子化問題対策 など

公共施設の耐震化

地区公民館の早急な対策を望む



お 忠 男
ただ 忠 男
ぐち 口 忠
せき 関

問 市では、平成20年8月に「石岡市耐震改修促進計画」を策定し、市の所有する建築物の耐震化に努めるとしており、市有対象建築物の耐震化率の目標は90%とされています。そのような中、地区公民館4館のうち、葦穂地区、瓦会地区、林地地区はいずれも市の基準である0・7を下回り、耐震化の事業対象に当たると考えますが、耐震化は進んでいないようです。公民館は、講座やイベントなどで人が集まる場所であり、早急に耐震化事業に取り組んでいただきたいと思います。そこで、これらの公民館の耐震化の取組状況について伺います。

答 石岡市耐震改修促進計画に基づき、不特定多数の方が利用する施設は、規模にかかわらず積極的に耐震化を図るため、地区公民館4館の耐震診断を実施いたしました。石岡市の場合、耐震の基準は、学校教育施設はIS値0・7、一般の建物は0・6ですが、耐震診断の結果、府中地区公民館は0・7、林地地区は0・6、葦穂地区と瓦会地区は0・45でした。公民館は、たくさんの方が集まる場所ですので、利用する方の安全を確保するためにも、耐震改修の年次計画を立て、改修のための予算確保に努めてまいります。



市役所窓口でのマスク効果のあるプライバシー保護の配慮

—— 会話からの情報漏えいをどう防ぐか



み 由 美
よし 造 由 美
たま づくり

問 市役所の窓口は、相談の仕切りや番号による呼び出し、個室を設けての対応など、プライバシーの保護の配慮はされていますが、一番大事な職員との会話における個人情報漏えいへの配慮は、十分とは言えません。窓口での会話から個人情報漏れないよう管理することは、大変重要なことだと考えます。そこで、窓口業務に關して、プライバシー保護の重要性と問題点を伺います。また、安心して相談できる、マスク効果のある「スピーチ

プライバシーシステム」を導入すべきと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 プライバシーの保護は、個人の権利、利益を守るためにも非常に重要です。現在、窓口では仕切り板を設置して、直接に情報が見られないようにプライバシーの保護に努めています。また、担当する課長で構成する「石岡市総合窓口サービス運営委員会」で、サービス向上のためのアンケート調査を行うとともに、市民の意見を検証していく考えです。館内に音楽を流すことでマスク効果を図る事例もありますので、さらに調査研究を進めていきます。新庁舎建設基本計画においても、プライバシーに配慮したカウンターの設置等を掲げていますので、プライバシー保護に十分配慮した窓口等の整備に努める考えです。

その他の質問事項
●子育て世代を応援する施策の導入
●ゲートキーパー養成研修

上野東京ライン開業に伴う人口動態の変化

好機を生かした観光振興策は



みち 道 泰
やす 村 泰
かみ 上 泰
むら 村

問 上野東京ラインの開業に伴い、これまでと異なるエリアからの誘客に向け、ますます情報発信やPRが重要となります。そこで、市の観光振興計画ではどのような事業に取り組む考えか伺います。

開業に伴い料金体系が大きく変わること、特急定期券や回数券が廃止となり、通勤通学する方の経済的負担が増加することが予想されますが、この変更が市にどのような影響を与えていると見ていますか。また、観光で利用する日中や、夕方の通勤時間帯の品川発の電車の増便など、利便性を高めるため、市として要望をしていく考えがあるか、今後の方針を伺います。

答 観光振興計画では、里山景観の保全・活用や都市農村交流体験の観光メニューを拡大するなど、開業を好機と捉え、積極的に情報発信していく考えです。また新たに設定される特急料金は、市から東京方面に通勤・通学する場合、利用者が大幅な負担増を強いられることになるため、市では、開業は一定のメリットはあるものの、転出増につながりかねないと危惧しています。そのため、昨年中には、特急回数券の維持等の要望を市長自ら行うとともに、茨城県常磐線整備促進期成同盟会を通じての要望も実施しました。今後も、関係団体と協力しながら、要望活動を行ってまいります。

その他の質問事項
●観光計画
●消防法施行令の一部改正
●教育行政



●議案第37号 介護保険条例の一部改正

当市介護保険料が高額な理由

岡野孝男

問 石岡市の介護保険料の基準額は、3年前には県内で最も高額な月額4980円であり、全国平均を10円上回る額でした。今回の改正により、全国平均は推定で月額5550円、当市は100円上回る5650円となり、おそらく県内でも上位の基準額と予想されます。

そこで、石岡市の介護保険料はなぜ高額なのか、理由を伺います。

答 介護保険料の算出根拠となるのは、介護サービス

の提供にかかる給付費の総額です。当市は、一人当たりの給付費が24万9300円で、全国・県平均とともに上回っています。また、第1号被保険者に占める要介護認定者の割合は15%、全国平均の17・6%は下回るものの、県平均14・5%より高い割合です。さらに、平成27年度の給付費の見込み額は60億8398万3000円、要介護認定率は15・8%ですが、29年度までの推計で給付費68億468万3000円、要介護認定率16・6%と、年々増加が見込まれています。

以上のことから、当市の保険料が相対的に高くなっていると考えます。

その他の質問事項

●平成26年度一般会計補正予算（第6号）

議案第46号

平成26年度石岡市一般会計

補正予算（第7号）

議案第46号は、議会最終日である3月19日に、市長より追加提案されました。

国が地方創生に関する地方の取組を支援する目的で創設した「地域住民生活等緊急支援交付金」により実施する事業の経費を計上したもので、補正予算額2億1422万1000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は299億211万8000円とし、全額を翌年度に繰越するものです。提案理由の説明後、直ちに議案に対する質疑に入り、4名の議員が質疑を行いました。主な質疑は、次のとおりです。

問 観光交流推進事業中、地域交通対策事業490万円の内容は。

答 これまで連絡のなかったTXつくば駅から柿岡車庫間を結ぶバスを

運行するもので、27年9月から11月の土日祝日のみ、1日6往復程度を予定しています。

問 商工振興事業中、プレミアム商品券事業委託の詳細について伺う。

答 総額6億円、1冊1万円で1万2000冊分の商品券を5万冊の発行を予定しています。5月頃に市民への周知・参加店の募集をはじめ、7月頃の発行、販売期間は年内を予定しています。

問 東京圏等観光PR業務委託料500万円の内容は。

答 イベントを企画する専門会社に委託し、常磐線やTXのターミナル駅に、メディアで取り上げられるようなイベントやPRを仕掛けていきたいと考えています。

平成27年

第2回定例会のお知らせ

第2回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、仮設庁舎本館2階ロビー、八郷総合支所1階ロビー、まちかど情報センターで中継をご覧頂けます。



月 日	曜	主 な 内 容	場 所	放映
6月16日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
22日	月	一般質問	//	//
23日	火	一般質問	//	//
24日	水	一般質問	//	//
25日	木	議案質疑	//	//
26日	金	常任委員会	委員会室	無
29日	月	常任委員会	//	//
30日	火	常任委員会	//	//
7月 1日	水	議会運営委員会	//	//
2日	木	議案の採決など	本会議場	有

富有柿のブランド化

産地を維持・活性化するための方策は――



おの かつ 勝 男
おお 槻 大

問 石岡市は、県内でも有数の果樹生産地ですが、近年は生産者の高齢化が進み、後継者不足の危機感を感じています。これまで、県内有数の産地を維持してきたわけですから、低迷させることなく、これからも受け継いでもらいたいと考えます。そこで、現在の主な果樹栽培面積や農家数の推移を伺います。さらに、皇室に献上し、全国的に知名度の高い柿について、生産の現状とこれまでブランド化に向けてどのような取組をしているのか伺います。また、産地を維持・活性化するため、今後の市の取組やトップセールスに対する考えも伺います。

答 市内の主な果樹は、梨の農家数は129戸、栽培面積は約100ヘクタール、柿は74戸、約96ヘクタールであり、10年前に比べて農家数は減少しています。生産者の77%が60歳以上の経営者で、後継者が見込めるのは20%程度であり、規模の縮小や廃園が懸念されます。

現在は「フルーツプロジェクト」を展開し、シャインマスカットや富有柿などのうち厳しい基準をクリアしたものを、高付加価値商品として高価格で販売しています。この取組を拡大し、生産者の技術向上と収益力アップ、産地としての知名度を上げながら、新規就農者の誘導や新植等の支援を行い、果樹産地の維持・活性化を図っていきます。トップセールスは、今後も機会を通じて積極的に行っていきたいと思います。

地籍調査事業

―― 上曽字きのこ山周辺の地籍調査は



おかの 野 佐 工

問 小屋子足尾下、上曽字きのこ山周辺の地籍調査事業はいまだに実施されておらず、山林の所有者は非常に困っていると聞きます。市に対して何度も申し入れがあったと思いますが、今後、市はどのように対応するのか、問題解決に向けた考えを伺います。この地籍調査は、今の機会を逃しては永久に実施することはできません。調査に必要な公図等の基礎資料がなかったため調査区域から除外されたわけですが、存在している3000分の1の地図を公図のかわりに活用し、地権者同士で境

界が確認可能な地域だけでも実施できないか、伺います。

答 当該地区は、当時筆数が510筆、面積は2・5平方キロメートル、所有者185人で、調査に必要な公図等の基礎資料がなく、境界も不明確な山林が多かったため、やむなく調査区域から除外いたしました。こうした地区の調査方法として、関係者全員が合意し境界線を決めたのちに地籍調査を実施する「集団和解」の方法が考えられますが、所有者による境界確認がどこまでできるか、調査費の手当など、難しい課題があります。しかし、根拠となる図面がない状態が続くのは所有者や地域にとって良好な状態ではありませんので、解決方法を調査するとともに、県や法務局と協議してまいります。

その他の質問事項

●国民宿舎つくばね遊休農地の利用 ●農業施設被害農家の再建 など

議案質疑

●議案第36号 地域包括支援センターの職員等の基準を定める条例
職員配置数と業務の実状

小松豊正

問 ①地域包括支援センターの設置場所や、常勤、非常勤職員数の現状を伺います。

②第4条では、地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、介護支援専門員の人員基準を1人としています。業務を行う上であまりにも少なすぎます。地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの要をなすセンターであり、当市は高齢化が進み、市域も広大ですので、基準を上回る職員配置が必要です。そこで、現在の職員数で余裕を持って業務にあたっているか、職員の業務の実情と、実際の配置職員数を伺います。

を行っています。

②条例には国の示す基準に沿って、第1号被保険者の数がおおむね3000人以上6000人未満に對して保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職を各1人ずつ、合計3人を1チームとしています。平成26年4月現在の当市の第1号被保険者の数は2万1501人ですので、4チーム12人の専門員が必要です。現在は保健師2人、社会福祉士等3人、主任介護支援専門員3人、合計8人の専門職を配置し、精いっぱい業務にあたっています。専門職は、資格を持つ人自体が少なく、基準を満たす人数を確保することは困難ですが、確保に向けて鋭意努力してまいります。

その他の質問事項

●平成26年度一般会計補正予算(第6号) ●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 など

答 ①地域包括支援センターはひまわりの館に設置し、常勤10名、非常勤1名、合計11名の職員で業務

Q 消防機械整備事業費で購入する車両は何か。

A 消防ポンプ車を、消防団と八郷消防署に各1台、高規格救急車を山崎出張所に1台配備する予定です。

Q 市民ミュージカル開催事業委託料とは。

A 合併10周年にあたり実施するもので、キャスト、スタッフとも市民の参加を求め、オリジナル台本と音楽によるミュージカルを作り上げる事業です。

Q 平和大使派遣事業の内容は。

A 市内各中学校の2年生1名を代表として石岡市平和使節団を広島へ派遣し、平和記念式典への参列や資料館の見学を通して、平和の大切さ、命の尊さについて考える機会を提供するとともに、学校や地域に伝承することを目的にした事業です。

Q 子育て世帯及び新婚世帯家賃助成補助金の対象者は。

A 4月以降に婚姻届を行った新婚世帯で、夫婦の合計年齢が70歳未満の世帯と、未就学児が同居する世帯で4月以降に石岡に転入した世帯です。

Q (仮称)石岡ふるさとまつりの概要は。

A 合併10周年を機に、産業祭と八郷ふれあいまつりを統合し、新たなイベントとして実施するものです。10月の開催を予定し、イベントの詳細は実行委員会を組織して決定していく予定です。

Q 協働のまちづくり推進事業で、推進委員会の協議案件や人員構成は。

A 石岡市協働のまちづくり条例が4月から施行となったことから、これを推進するため、委員会では、市民参加の施策の実施状況や、意見をいただき、協働のまちづくりをさらにすすめるための制度、施策を検討いただく考えです。公募を行い、12名の委員を予定しています。

Q まち未来いしおか出資金600万円の使途は。

A まち未来いしおかの経営基盤の強化と早期の経営安定のために出資するもので、出資金を運転資金として、まちかどギャラリー事業や各種イベントやPRに取組んでいくとしています。

Q フラワーパーク開園30周年記念事業委託料350万円の内容は。

A 30周年にあたり、11月に記念事業を予定するほか、春のバラの期間には、プレイイベントとして花の講習会やクラシック演奏、秋にはフラワーデモンストラレーションやフォトコンテスト等を予定しています。このほか、記念誌も発行いたします。



Q チャイルドシート購入補助金の内容は。また、今後、制度を拡充していく考えはあるか。

A 子育て世帯の負担軽減などを目的に実施する事業で、購入価格の2分の1、5000円を限度

に、助成を計画しています。予算では、6歳未満を対象に500人分を見込んでいますが、年度途中に不足が見込まれた場合は、執行状況をみながら検討します。

Q 中央図書館長の民間登用の理由は。

A 図書館の役割や目的など、日々変化をしていることから、新たな視点や発想を取り入れながら、図書館サービスの拡大と質の向上を柔軟に行うことの出来る、民間の館長を登用することとしました。

Q 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業は、26年度当初予算の60%以上を繰り越しているが、その理由は。

A 事業期間が限られた中で、用地取得後速やかに工事に着手し、整備を進めています。用地購入や家屋等の補償で工事に入れないことも出てい

ます。予算はあくまでも単年度主義ですので、なるべく繰越にならないよう、方策を講じていきます。

Q 市民から最も要望の多い市道の整備費が減額されているのはなぜか。

A 緊急性や必要性に応じて、地域の公平性を加味して整備をしています。地域のニーズを捉えて予算を積み上げた結果の予算額です。

Q 霞台厚生施設組合負担金が増額となった理由

A ゴミ処理の広域化に向けて、構成4市町より職員を派遣することから、その賃金を各市町村で均等割し、負担することによる増額です。



常任委員会の活動

●石岡市議会には、常任委員会が置かれています。各委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、平成27年第1回定例会での各委員会の活動内容を報告します。

●総務委員会

ふるさと応援寄附基金

3月16日に開催した当委員会では、一般会計補正予算や市町村建設計画の一部を変更する議案など付託された議案9件の審査を行いました。

石岡市基金条例の一部を改正する条例の審査では、はじめに執行部から、ふるさとづくり寄附金の適正な管理運用を行うため、新たに「石岡市ふるさと応援寄附基金」を設けるものであり、条例の提案と合わせて補正予算の歳出に、基金積立金2億2536万2000円を計上するとの説明がありました。これを受けて委員からは、寄附金の使途や基金とす

る理由について質問があり、「生活や文化の中心地として活気あるまちづくりに関する事業」など4項目の使途の目的に合った事業に基金から繰り出し、予算を充当する」との答弁がありました。

審査の結果、いずれの議案も原案可決すべきものと決しました。

●教育福祉委員会

条例の一部改正

3月13日の当委員会では、一般会計補正予算及び介護保険特別会計補正予算条例の一部改正の議案など付託された議案16件の審査を行いました。

石岡市立幼稚園授業料等徴収条例の一部改正議案については、利用者負

担額が国の定める水準を超えないよう3階層区分に授業料を設定するという執行部からの説明を受け、委員から「授業料決定については保護者の所得状況等について十分に精査をするよう」との要望がありました。

石岡市保育所条例の一部改正議案については、4月からの子ども子育て新制度施行に伴い、児童福祉法の一部が改正されたことから石岡市保育所

条例の一部を改正するものですが、その中で保育料等の減免についてはこれまで保育料だけの減免規定でしたが、保育所送迎バスの利用料についても特別の理由によって減免できることとなるとの執行部からの説明に委員

からは「保護者に関して子供の人数が増えるとかんがりの負担になるので、特別の理由について十分精査し減免申請の方法についても検討するよう」との意見がありました。

審査の結果、いずれの議案も原案可決すべきものと決しました。



●環境経済委員会

一般会計補正予算

3月13日の当委員会では、一般会計補正予算及び特別会計補正予算の議案のほか、石岡市自然休養村センター条例を廃止する条例を制定する議案など、付託された議案8件の審査を行いました。

一般会計補正予算の議案は、昨年10月の台風18号で被害を受けた川又、

片野、根小屋地区の農業用揚水機場改修に対する補助金1127万5000円。河川の増水による公共施設等への冠水防止するため、石岡地区4機場の運転を委託した経費49万5000円などです。委員からの「川又、

片野、根小屋地区の機場改修について、進捗状況はどうか」との質問に対し、「現在実施中で、来月の作付時期には間に合うよう整備を進めていきたい」との答弁がありました。

審査の結果、いずれの議案も原案可決すべきものと決しました。

●都市建設委員会

工事委託契約の一部変更

3月16日の当委員会では、一般会計補正予算、常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の工事委託契約の一部変更議案など、付託された議案4件の審査を行いました。

常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の工事委託契約の一部変更議

案は、平成25年第2回定例会で議決されたJR東日本との工事委託契約を、自由通路内の一部施工の変更に伴い、委託金額に変更が生じたため議決を求めるものです。執行部から「主な変更内容は、通路利用者の利便性、安全性、連絡性の向上を図ることや市民活動の推進、市のPRによる交流人口増加を目的としたものです。追加工事は2億1334万5600円の増額で、内訳は、①西口2階ひさし変更及びシェルター追加工事、②西口1階展示場ガラスの仕様変更及び空調機器設置工事、③BRT側及び東口側ひさし新設工事④東口側エスカレーター躯体変更設置工事、⑤展示ケース、昇降ボタン等の追加設置工事、⑥その他電灯灯具、配電盤工事などです」との説明があり、審査の結果、原案可決すべきものと決しました。

そのほか、3議案は原案可決すべきものと決しました。

Q 石岡駅周辺整備事業の事業内容は。

A 石岡駅は、27年夏に一部供用開始を予定しており、27年度は石岡駅周辺整備事業として18億1841万7000円を計上しています。具体的には、駅東交通広場やBRT専用駅前広場の整備、駅の完成式典の業務委託などを予定しています。



▲夏の一部供用開始に向け工事が進む石岡駅舎

Q 石岡駅周辺整備事業で行う、発車メロディ制作業務委託とは。

A 駅舎の完成に伴い、駅構内の発車メロディとしてご当地メロディを導

入し、石岡市のPRにつながるものです。

Q 観光案内所運営経費が増額された理由は。

A 駅舎の工事のため、8月から現在の場合が使用できなくなることから、代替の施設を借りて観光案内業務を実施するため、増額しています。

Q 市内橋りょうの長寿化に向けた計画は。

A 修繕測量設計委託として、橋りょうの剥離防止、ボルトやアンカーの設置具合の確認や打音検査を、26年度に2か所実施し、27年度は7か所予定しています。

その他の質問事項

- 乗合いタクシー運行事業補助金
 - 戦略的情報発信業務委託料
 - 筑波山地域ジオパーク推進事業
 - 市税等の収納率向上
 - 区長・協力員報酬
 - 安全・安心まちづくり推進事業
 - 生涯現役プラチナ応援事業
 - 子育て世帯臨時特例給付金
 - 農力アップ推進事業
 - 空き店舗等活用支援事業費補助金
 - 木造住宅耐震改修促進事業
 - 市営住宅長寿命化改修事業
 - ふるさと学習推進事業
 - 財政調整基金
 - 非常勤特別職の報酬見直し など
- 予算特別委員会の審査内容を議長に報告するにあたり委員長は、「審査における提言や問題点を精査検討のうえ、ふるさと再生のプロジェクトと、これに関する石岡ふるさと再生プランの着実な実現をお願いする」と提言しました。

議場の紹介



▲傍聴席側から見た議場の様子

議場は本会議が開かれる場所で、議会の意思は本会議の議決によって最終的に決定されます。

正面中央、議場全体を見渡せる一番高いところに議長席があり、議長はここから開会・閉会を宣言したり、質問者や答弁者を指名するなど、会議を運営します。その隣には、議長を補佐する議会事務局局長席があり、議長席の手前には、市長が議案提案理由の説明などを行う演壇、両脇には執行部席があります。



▲議長席から見た議場の様子

議長席の前にずらりと並び議席は全部で24席。うち2席は、定数削減により現在は使用していません。座席は全て指定されていて、出席議員が自席の右上の名札を立てると、側面の電光掲示板に出席者としてカウントされます。

議席後ろの一段高い場所には、全50席の傍聴席があります。石岡市議会では、傍聴席からも発言中の議員の表情がわかるように、議場側面に液晶モニターを2台設置しています。



石岡市議会では、定例会ごとに会議の様子を掲載した「いしおか市議会だより」を発行しているほか、ホームページでも情報を公開しています。石岡市議会で検索してください。

<http://www.ishioka-shigikai.jp/>

石岡市議会



常任委員会・議会運営委員会の構成

石岡市議会では、議案や陳情などの審査を少人数で能率的・専門的に進めるため、所管ごとに3つの常任委員会（総務・教育福祉環境・経済建設消防）を設置しました。また、議会を円滑に運営するため、各会派の代表者による議会運営委員会を設置し、議長からの諮問事項や運営上の課題の協議、議会のルールづくりなどを行っています。

◎印は委員長 ○印は副委員長です

総務委員会	教育福祉環境委員会	経済建設消防委員会	議会運営委員会
総合計画、行財政改革の実施状況などの企画に関することや、税金に関すること、市の人事制度、防災などについて調査、審査します。	市内小中学校に関することや文化振興、子どもやお年寄りの福祉に関すること、協働のまちづくりや環境問題などについて調査、審査します。	農業や商工業の振興、道路や下水道、公園などの整備、都市計画、市営住宅の管理運営、消防などについて調査、審査します。	議会の運営に関することや議会の会議規則・委員会条例等に関するについて協議するほか、議会広報紙についての調査・審査も行います。
◎菱 沼 和 幸	◎谷田川 泰	◎関 口 忠 男	◎池 田 正 文
○勝 村 孝 行	○池 田 正 文	○村 上 泰 道	○勝 村 孝 行
徳 増 千 尋	島 田 久 雄	鈴 木 行 雄	菱 沼 和 幸
塚 谷 重 市	岡 野 孝 男	高 野 要	関 口 忠 男
山 本 進	櫻 井 信 幸	大 槻 勝 男	谷田川 泰
小 松 豊 正	玉 造 由 美	川 井 幸 一	石 橋 保 卓
石 橋 保 卓	新 田 茜	大和田 寛 樹	
櫻 井 茂			

一部事務組合・地方公営企業・広域連合議会議員の状況

石岡市は、他自治体とその事務の一部を共同で処理したり、広域にわたり総合的かつ計画的に処理するため、4つの一部事務組合と1つの広域連合に参加しています。また、小美玉市と共に地方公営企業「湖北水道企業団」を運営し、石岡地区の一部地域の給水を行っています。

これら一部事務組合・地方公営企業・広域連合にはそれぞれ議会が設置されており、その議員には、構成市の議会から選出された議員が就くことになっています。

一部事務組合・地方公営企業・広域連合議会議員の選出状況は、以下のとおりです。

●湖北水道企業団（石岡市議会選出6人）

選出議員／島田久雄 菱沼和幸 池田正文 村上泰道 谷田川泰 勝村孝行

●湖北環境衛生組合（石岡市議会選出7人）

選出議員／高野要 岡野孝男 関口忠男 大槻勝男 石橋保卓 大和田寛樹 新田茜

●霞台厚生施設組合（石岡市議会選出5人）

選出議員／櫻井信幸 山本進 大槻勝男 小松豊正 櫻井茂

●石岡地方斎場組合（石岡市議会選出6人）

選出議員／鈴木行雄 徳増千尋 玉造由美 石橋保卓 川井幸一 新田茜

●新治地方広域事務組合（石岡市議会選出3人）

選出議員／塚谷重市 関口忠男 大和田寛樹

●茨城県後期高齢者医療広域連合（石岡市議会選出1人）

選出議員／塚谷重市

》》》》議会を傍聴してみませんか《《《《《

石岡市議会では、本会議と各常任委員会を一般公開しており、どなたでも議会の傍聴ができます。傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、または、議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、各常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。

